

指定管理施設モニタリングチェックシート

（令和3年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況）

施設名	平戸市たびら昆虫自然園	指定管理者	一般財団法人平戸市振興公社
指定期間	令和2年4月1日から令和6年3月31日	担当課	観光課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数(日)	315	164	52.1	
	延べ利用者数(人)	10,500	6,746	64.2	
	事業開催回数	必須事業(回)	0	0	0.0
		自主事業(回)	4	4	100.0
収支状況	収入	指定管理料(円)	14,694,000	7,347,000	50.0
		利用料収入(円)	3,340,000	1,860,730	55.7
		自主事業収入(円)	100,000	84,260	84.3
		その他の収入(円)	1,182,000	504,470	42.7
	収入計(円)		19,316,000	9,796,460	50.7
	支出	人件費(円)	12,598,000	6,309,603	50.1
		維持管理経費(円)	3,312,000	1,839,822	55.6
		自主事業関係経費(円)	80,000	17,737	22.2
		その他の支出(円)	3,326,000	1,000,138	30.1
	支出計(円)		19,316,000	9,167,300	47.5
収支(収入-支出)(円)		0	629,160	0.0	

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】</p> <p>開館日については、自然災害等もなく予定どおり開館し、SNS等(Instagram)により情報発信を行い集客に努めた。コロナにより入園者内訳が県内68%県外32%となった。</p>	<p>【事業の実施状況について】</p> <p>コロナの感染拡大状況を考慮しながら、定員の縮小や解説時のフェイスシールドの着用、ソーシャルディスタンスの確保等の感染防止策を徹底し、比較的风险が少ない自然体験を中心に事業を実施した。</p>	<p>【収支状況について】</p> <p>入園料は、8月が長雨の影響で前年度を大きく下回った(前年度比73%)ものの、県民対象の旅行企画等もあり上期計で前年度比116.8%で推移している。経費削減の効果もあり、収支は改善している。</p>
---	---	---

所管課の評価(指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響によりゴールデンウィークの時期を閉館するなどしたことと比較するとSNSを駆使しながら健闘していると考え。</p>	<p>【事業の実施状況について】</p> <p>屋外の案内が中心となるが、コロナ対策を十に取りながら事業が実施されていると考える。</p>	<p>【収支状況について】</p> <p>園内の枯れ木など昆虫のために再利用できないものは有効活用していることを評価する。売店売上アップに工夫をしていただきたい。</p>
--	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

維持管理	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	○適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適正津であり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている。	実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	○適正・要改善	○適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	○適正・要改善	○適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	実施	○適正・要改善	○適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	○適正・要改善	○適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	○適正・要改善	○適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	4人 人員配置計画、実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	○適正・要改善	○適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	○適正・要改善	○適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)	令和3年度は、昆虫自然園内での自然体験や昆虫観察に園内で整備している野菜類の収穫や実食を楽しめる有料の「昆虫クラブ」を新規に立ち上げ、上半期には、実験教室、夜の観察会等を実施した。下半期には園外での自然体験や収穫祭等を行う予定としている。新たな会員クラブは、今後の新規自主事業収益確保、事業の充実を図り、継続して行うことが今後の課題と考える。また、施設整備については、前年度より田平まちづくり協議会や北松農業高校など連携して行っている「平戸ミステリーローズ」「やぶ椿」の観賞ゾーン整備を実施し、新たな魅力づくりに取り組んでいく。アンケート結果については、リピートしたいとの意見が24件中5件(20.8%)あり内容の充実がうかがえるので、新規の入園者をいかに確保出来るかが鍵となると考える。今後もInstagramやホームページを最大限活用し、情報発信に力を入れていきたい。
所管課による所見(指摘事項など)	公益財団法人から一般財団法人となり収益事業を積極的に行う体制になった。その利点を最大限に生かす施設運営に鋭意努めていきたい。 令和2年度から田平町内平戸市内の各関係団体との連携が強まり、令和4年度の開園30周年に向けて活気が増えている。今後の経営には大いに期待している。